

タケルダ配合錠

【この薬は？】

| | |
|--------------|--|
| 販売名 | タケルダ配合錠 TAKELDA Combination Tablets |
| 一般名 | アスピリン Aspirin ランソプラゾール Lansoprazole |
| 含有量 (1錠中) | アスピリンとして 100 mg 及びランソプラゾールとして 15 mg |

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- この薬は、抗血小板剤作用薬とプロトンポンプインヒビターの2種類を含んだ薬です。
- アスピリンは、血小板の機能を抑えることにより、血液を固まりにくくし、血栓症の再発を防ぎます。
- アスピリンで胃・十二指腸潰瘍がおこることがありますが、ランソプラゾールは、胃酸の分泌を抑え、それらを防ぎます。
- 次の目的で処方されます。

下記疾患又は術後における血栓・塞栓形成の抑制（胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の既往がある患者に限る）

- 狭心症（慢性安定狭心症、不安定狭心症）、心筋梗塞、虚血性脳血管障害

(一過性脳虚血発作 (TIA)、脳梗塞)

- **冠動脈バイパス術 (CABG) あるいは経皮経管冠動脈形成術 (PTCA) 施行後**
- この薬は、体調が良くなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化したり、再発することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- 過去にタケルダ配合錠に含まれる成分またはサリチル酸系製剤 (アスピリン、アスピリン・アスコルビン酸、アスピリンダイアルミネート、サリチル酸ナトリウム、サザピリン、サリチルアミド、エテンザミドなど) で過敏な反応を経験したことがある人
- アタザナビル硫酸塩、リルピピリン塩酸塩を使用している人
- 消化性潰瘍がある人
- 出血傾向 (容易に出血したり、いったん出血すると止まりにくい) のある人
- アスピリン喘息の人、または過去にアスピリン喘息になったことがある人
- 出産予定日が 12 週間以内の妊婦

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- 過去に薬剤で過敏な反応を経験したことがある人
- 血液の異常のある人、または過去に血液の異常があった人
- 家族に、容易に出血したり、いったん出血すると止まりにくい人がいる人
- 肝臓に障害がある人、または過去に肝臓に障害があった人
- 腎臓に障害がある人、または過去に腎臓に障害があった人
- 気管支喘息の人
- アルコールを常飲している人
- 高齢の人
- 妊婦 (ただし、出産予定日が 12 週間以内の妊婦は、この薬を使用することはできません) または妊娠している可能性のある人
- 手術、心臓カテーテル検査または抜歯前 1 週間以内の人

○この薬には併用してはいけない薬 [アタザナビル硫酸塩 (レイアタッツ)、リルピピリン塩酸塩 (エジュラント)] や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

| | |
|------|---------|
| 1 回量 | 1 錠 |
| 飲む回数 | 1 日 1 回 |

●どのように飲むか？

- コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。
- 口の中では溶けない薬です。かんだり、割ったりせずに、必ず水と一緒に飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

気づいた時に1回分を飲んでください。決して2回分を一度に飲まないでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

誤って多く使用した場合、耳鳴、めまい、頭痛、嘔吐（おうと）、難聴、軽度の頻呼吸等の初期症状が起こることがあり、さらに、過呼吸、痙攣（けいれん）、昏睡、呼吸不全などの症状に移行するおそれがありますので、すぐに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- 使用中に妊娠が判明した場合は、医師に相談してください。
- 授乳中の方は、授乳を中止してください。
- アルコール飲料はこの薬に影響しますので、控えてください。
- 他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

| 重大な副作用 | 主な自覚症状 |
|---------------------------|---|
| ショック | 冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失 |
| アナフィラキシー | 全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しい |
| 汎血球減少 はんけつきゅうげんしょう | めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきの出血、息切れ、動悸、あおあざができる、出血しやすい、発熱、寒気、喉の痛み |
| 無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう | 突然の高熱、寒気、喉の痛み |
| 再生不良性貧血 さいせいふりょうせいひんけつ | めまい、体がだるい、息切れ、動悸、あおあざができる、出血が止まりにくい、発熱、寒気、喉の痛み |
| 溶血性貧血 ようけつせいひんけつ | 体がだるい、めまい、息切れ、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる |
| 顆粒球減少 かりゅうきゅうげんしょう | 突然の高熱、寒気、喉の痛み |
| 血小板減少 けっしょうばんげんしょう | 鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい |
| 貧血 ひんけつ | 体がだるい、めまい、頭痛、耳鳴り、動悸、息切れ |

| | |
|--|--|
| 重篤な肝機能障害 じゅうとくなかんきのうしょうがい | 体がだるい、吐き気、食欲不振、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）、意識の低下 |
| 中毒性表皮壊死融解症 ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう | 皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ |
| 皮膚粘膜眼症候群（ステイブンス・ジョンソン症候群） ひふねんまくがんしょうこうぐん | 発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する |
| 剥脱性皮膚炎 はくだつせいひふえん | ほぼ全身の皮膚が発赤する、フケやかさぶたのようなものを付着し、それがはがれ落ちる、発熱をしばしば伴う |
| 間質性肺炎 かんしつせいはいえん | 咳、息切れ、息苦しい、発熱 |
| 間質性腎炎 かんしつせいじんえん | 発熱、発疹、関節の痛み、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、むくみ、尿量が減る |
| 頭蓋内出血 とうがいないしゅっけつ | 突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然片側の手足が動かしにくくなる、突然の頭痛、突然の嘔吐、突然のめまい、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる |
| 肺出血 はいしゅっけつ | 咳と一緒に血が出る |
| 消化管出血 しょうかかんしゅっけつ | 吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色または黒褐色）、腹痛、便に血が混じる、黒い便が出る |
| 鼻出血 びしゅっけつ | 鼻血 |
| 眼底出血 がんでいしゅっけつ | 視界の中に見づらい部分がある、視力の低下、目のかすみ、小さいゴミのようなものがみえる症状の悪化 |
| 喘息発作 ぜんそくほっさ | 息をするときゼーゼー、ヒューヒューと音がする、息苦しい |
| 消化性潰瘍 しょうかせいかいよう | 吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色ときに黒色）、腹痛、胃がむかむかする、黒い便が出る |
| 小腸・大腸潰瘍 しょうちょう・だいちょうかいよう | 腹痛、下痢、便に血が混じる（暗赤色） |



同類薬（オメプラゾール）であられる、特にご注意いただきたい重大な副作用と、主な自覚症状を記載しました。この薬でもあられる可能性があります。副作用であれば、重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあられることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

| 重大な副作用 | 主な自覚症状 |
|-------------------|------------------|
| 視力障害 しりよくしょうがい | 文字や形がみえにくい、視野の異常 |

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用の表をご覧ください。

| 部位 | 自覚症状 |
|-----|--|
| 全身 | 冷汗が出る、ふらつき、出血しやすい、発熱、寒気、突然の高熱、体がだるい、出血が止まりにくい、体がかゆくなる、急激に体重が増える、発熱をしばしば伴う、むくみ |
| 頭部 | めまい、意識の消失、頭痛、意識の低下、突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然の頭痛、突然のめまい |
| 顔面 | 顔面蒼白、鼻血 |
| 眼 | 白目が黄色くなる、目の充血やただれ、視界の中に見づらい部分がある、視力の低下、目のかすみ、小さいゴミのようなものがみえる症状の悪化、文字や形がみえにくい、視野の異常 |
| 耳 | 耳鳴り |
| 口や喉 | 喉のかゆみ、歯ぐきの出血、喉の痛み、吐き気、血を吐く、唇や口内のただれ、咳、嘔吐、突然の嘔吐、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる、咳と一緒に血が出る、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色または黒褐色）、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色ときに黒色） |
| 胸部 | 動悸、息苦しい、息切れ、息をするときゼーゼー、ヒューヒューと音がする |
| 腹部 | 食欲不振、お腹が張る、腹痛、胃がむかむかする |
| 手・足 | 手足が冷たくなる、関節の痛み、突然片側の手足が動かしにくくなる |
| 皮膚 | 全身のかゆみ、じんま疹、あおあざができる、皮膚が黄色くなる、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、ほぼ全身の皮膚が発赤する、フケやかさぶたのようなものを付着し、それがはがれ落ちる、発疹 |
| 便 | 便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）、下痢、便に血が混じる、黒い便が出る、便に血が混じる（暗赤色） |
| 尿 | 尿の色が濃くなる、尿量が減る |

【この薬の形は？】

| | |
|---------|--|
| PTP シート |  |
| | 表面 裏面 |
| 形状 | 素錠  |
| 直径 | 10.0 mm |
| 厚さ | 5.4 mm |
| 重さ | 437 mg |
| 色 | 白色～帯黄白色で 赤橙色～暗褐色の斑点がある |
| 製剤表示 | タケルダ |

【この薬に含まれているのは？】

| | |
|------|--|
| 有効成分 | アスピリン／ランソプラゾール |
| 添加物 | トウモロコシデンプン、結晶セルロース、カルメロース、メタクリル酸コポリマーLD、アクリル酸エチル・メタクリル酸メチルコポリマー、ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル、ポリソルベート 80、モノステアリン酸グリセリン、クエン酸トリエチル、無水クエン酸、乳糖水和物、炭酸マグネシウム、低置換度ヒドロキシプロピルセルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒプロメロース、タルク、酸化チタン、マクロゴール 6000、黄色三二酸化鉄、三二酸化鉄、D-マンニトール、クロスポビドン、メタケイ酸アルミン酸マグネシウム、ステアリン酸マグネシウム、ラウリル硫酸ナトリウム |

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- 症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- 一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：武田テバ薬品株式会社 (<http://www.takeda-teva.com>)

武田テバ DI センター

TEL : 0120-923-093

受付時間：9：00～17：30（土日祝日・弊社休業日を除く）